

こんな取り組みをしています！

子どもを見守るネットワーク会議に参加している団体をはじめとして、地域ではさまざまな団体が地域防犯に取り組んでいます。

登下校パトロール（見守り活動）



学校、家庭、地域のボランティアなどが一体となり、集団下校に同行したり、登下校時に自宅の最寄りの通学路に立ったり、無理をせずできる範囲で、子どもの安全を見守っています。

無理をせずできる範囲で、子どもの安全を見守っています。

防犯パトロール



地域防犯の取り組みは長く続けることが大切なため、ウォーキングなどの趣味を利用し、腕章を着けて地域を歩くことにより防犯パトロールとしての効果を挙げるとい手法も実践されています。

防犯パトロールとしての効果を挙げるとい手法も実践されています。

青色回転灯装着車パトロール



青色回転灯を用いた防犯パトロールは、空き巣やひったくり、子どもを狙った犯罪などの抑止、住民の防犯意識の向上に効果があるといわれています。装着できるのは警察から証明を受けた団体のみです。

効果があるといわれています。装着できるのは警察から証明を受けた団体のみです。

子ども110番の家



子どもが危険を感じたときの緊急避難先で、参加している家庭などの玄関にはステッカーが張ってあります。また、協力者が増えるよう普及活動もしています。
※図柄は地域によって異なります。

また、協力者が増えるよう普及活動もしています。
※図柄は地域によって異なります。

学校で児童も活動しています

「桑っ子安全調査隊」

桑園小学校では、平成17年から5年生の総合学習の時間を使い、地域住民などの協力を得て、不審者出没の危険が考えられる場所などを記した校区内の安全マップ作りをしています。

これは子ども自身が危険な場所を調査し、一枚の地図にまとめることにより危険を予知する能力を養うことを目的としています。

作成したマップは後日、PTAや地域住民に発表しています。



安全マップと発表の様子

問い合わせ先

地域防犯については
総務企画課地域安全担当
タウントークについては
総務企画課広聴係

☎ (231) 2400



この機会に身近な地域防犯活動にあな
たも参加して
みてはいかが
でしょうか。

また、地域防犯に取り組む
団体では、積極的に住民に参
加を呼び掛けたり、地域の広
報誌などに活動を紹介したり
することにより、さらに活動
の輪を広げよ
うとしています。

中央区タウントークでは、「安全で安心なまちづくりを考えよう」をテーマに、市長が地域防犯に取り組む方などと、今後の活動や課題について話し合います。大好きな自分たちのまちを守るため、みんなと一緒に考えてみませんか（詳細は右ページ囲み記事参照）。

安全で安心なまちづくりを考えよう